

第42回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成24年2月16日

○会 場 武蔵野プレイス ワークラウンジ

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」などをテーマとしたタウンミーティングを計9回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計11回、屋外での青空タウンミーティングを計5回開催いたしました。

今回は、「学生と語る武蔵境のまちづくり」をテーマに、「第42回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成24年2月16日（木）
午後6時30分～8時30分
2. 場 所 武蔵野プレイス 3階 ワークラウンジ
3. 主 催 武蔵野市
4. 参加者数 50人(学生29人、その他21人)
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
武蔵境開発事務所長 福田 浩
6. 司 会 亜細亜大学 4年 楠島 遥香
亜細亜大学 3年 分部 陽実
企画政策室市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『学生と語る武蔵境のまちづくり』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 参加者自己紹介.....	2
(3) 武蔵境の歴史、まちについて（市長説明）（要旨）	6
(4) 市長説明についての意見交換.....	8
(5) 学生の地域活動についての意見交換.....	9
(6) 第一部意見交換（要旨）	
1. 地域内起業について.....	11
2. 学生の情報共有について.....	12
(7) 第二部意見交換（要旨）	
1. 武蔵境のブランド化について.....	14
2. 武蔵境の交通について.....	15
3. 防災対策について.....	16
4. 防犯対策について.....	16
5. 情報共有について.....	16
6. 武蔵野プレイスの活用について.....	18
7. 路上喫煙マナーについて.....	18
8. 国際交流について.....	20
9. 武蔵野プレイスのPRについて.....	20
10. フェイスブックについて.....	21
(8) 閉会のあいさつ	22
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	23
3. アンケートでいただいた感想	31

— 付属資料 —

【当日配布】 これからの武蔵境に期待すること
第42回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんばんは。武蔵野プレイスは使っていただいていますか。昨年7月にオープンして以来、多くの方にご利用いただいています。地下2階にはティーンズフロアがあり、若い人には大いにそこを活用していただきたいと思い、この施設をつくっております。勉強に、サークル活動に、さまざまな場面で今後とも利用いただきたいと思っています。

市長になって7年目ですが、市民の声を聞くことが、市政の原点だと思っています。これまで41回タウンミーティングを行ってまいりましたが、地域の活動で参加される方はベテランが中心なので、どうしても皆様、あるいは皆様方より少し上の世代になかなか意見を聞く機会がなかったので、今回は特にお願いをして、このような場を設けさせていただきました。と同時に、テーマもある程度絞らせていただいて、意見をいただきたいと思っています。

市民の声を生かした、市民が主役の市政を進めていこうと表明してございます。市民というのは、必ずしも住んでいる方だけでなく、その地域で活動している、あるいはその地域が好きで来ていただける方も、私は広義の市民として捉えており、地域の大学に通われている皆様方も大切な市民の一員であると認識しておりますので、ぜひ皆様方のフレッシュな視点で厳しくこの地域のまちづくりを語っていただけたらと思っています。



(2) 参加者自己紹介

【司会】

まず、参加している皆さんに自己紹介をしていただきたいと思います。普段の活動を一言で簡単にご紹介に加えてお願いいたします。

【学生1】

こんばんは。私は高校生ですが、武蔵境で生まれて武蔵境で育ちました。発言に至らない点もあるかとは思いますが、よろしくお願いします。

【学生2】

亜細亜大学の一般奉仕会「細流」に所属しています。「細流」はボランティア活動を行っています。

【学生3】

同じく亜細亜大学一般奉仕会「細流」に所属しています。

【学生4】

亜細亜大学学友会広報局に所属しております。日ごろ、学友会の活動を一般学生やほかの教職員の皆様にお伝えする広報活動を行っております。

【学生5】

亜細亜大学経営学部にも所属しています。亜細亜大学では中央執行委員会という生徒会のようなところに所属しております。武蔵境のイベントにも参加させていただいているので、きょうはそこで感じた意見などを言わせていただきたいと思います。

【学生6】

亜細亜大学経営学部にも所属しています。中央執行委員会の中の福利厚生局共助会ということで亜細亜大学の中の福利厚生施設、学食や販売店、お店などを中心とした活動をしてまいりました。それ以外にも市内一斉清掃ですとか武蔵境にかかわることもやってまいりました。市内にかかわることについてお話しできたらと思っています。

【学生7】

亜細亜大学生で、NPO法人SUN LINEの理事長を努めています。当団体は西久保コミュニティセンターというところで料理を通じてコミュニティを学ぶという料理教室を行っております。

また、今は被災地の活動を行っており、被災地で広がる孤独死や雇用問題が深刻化していますので、被災地の方々に集会所に集まっていただいて、会話を楽しみながら手編み物やものづくりをし、仕事につくまでのワンステップとしての活動を行っております。今晚からまた被災地のほうに行く予定です。被災地では、新たな問題が発生しているので、まだまだ皆さんの協力が必要なので、よろしくお願いします。



【学生8】

私は亜細亜大学経営学科です。洋弓部のほかにASIA UNIVERSITY Student Company Programという経営・運営を実践する組織に所属しており、模擬会社を設立して経営をしています。今日は自分の母校がある市の発展、さらなるよい環境を目指してこの会に参加しました。心の市民みたいな感じです。

【学生9】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。私は、亜細亜大学の学術文化連合会（文連）という文科系の団体の集まりがあり、総括をする執行委員会に所属しています。本日は貴重なお話ができるということで、よろしく願いいたします。

【学生10】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。私も学術文化連合会執行委員会に所属しております。そこでは外務局という主に渉外活動、対外関係の活動を行っております。私は今現在4年生で、もう卒業となるのですが、この1年間の経験談も含めいろいろ話していけたらなと思っております。

【学生11】

亜細亜大学から参りました。ジャズダンス部に所属しています。私たちは学内行事だけでなく、地域のイベントにもダンス出演としてたくさん出させていただいております。本日はよろしく願いします。

【学生12】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。私も彼女と同じくジャズダンスチームをやっています。地域のイベントにも出演させていただいております。

【学生13】

東京外国語大学から参りました。ペルシャ語を専攻しています。昨年のM I A（武蔵野市国際交流協会）主催の青年のための国際理解フォーラムの実行委員として参加させていただいたのと、あとはサークルとして日本・イスラエル・パレスチナ学生会議という団体の代表をさせていただいております。そちらの報告会も武蔵野市で毎年開催させていただいており、市民活動には深くかかわらせていただいております。

【学生14】

明治大学生です。僕はひとり暮らしで武蔵境に2年住んでいまして、すごくいいまちだなと気に入っています。今日は市長もいらっしゃるということで楽しみにしていました。

【学生15】

法政大学から参りました。建築が専門です。私は小金井のほうで「いがねこ」という学生団体を運営しており、食を通したまちの活性化を行っているサークルです。「いがねこ」というのは、法政大学のほかにも農工大学、亜細亜大学、学芸大学、東京経済大学など、いろいろな大学がまざってインターカレッジサークルとして活動しております。なぜ「いがねこ」という名前かといいますと、「小金井」を漢字からひっくり返して「いがねこ」なんですけれども、若者の力で小金井を盛り上げていこう、ひっくり返してやろうという意気込みで活動しております。今回は、武蔵野市の学生の皆さんがどういったことを考えられているのか、

こういった活動をされているのかという意見を伺いたいと思っています。私は市外に住んでいます。武蔵境をいつも通っているんですね。なので、いろいろとお話もさせていただけたらと思います。

【学生16】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。宇佐見先生のゼミナールの一員で、A-c a f e（コミュニティカフェ）をやらせていただき、そちらで初めてまちづくりにかかわらせていただきました。ぜひ皆さんといいお話ができたかなと思っています。

【学生17】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。宇佐見ゼミで活動させていただいております。フリーペーパー「iisakai」の制作やコミュニティカフェの広報の担当をさせていただきました。本日はその中で感じたことを言っていきたいと思っています。

【学生18】

亜細亜大学一般奉仕会「細流」にも所属しています。今回参加した理由は、去年から武蔵野市に住み始めて、タウンミーティングという言葉は知っていましたが、一体どういうものなんだろーというのが気になったのと、住んでいても結構この市のことを知らないなという気持ちがあります。またタウンミーティングがほんとうに実際に役立っているのかどうかというのもわからないので、そういうことを知りたいなと思って参加させていただきました。

【学生19】

亜細亜大学国際関係学部にも所属しています。私はもう卒業ですが、日本・イスラエル・パレスチナ学生会議という団体で活動させていただきました。イスラエルとパレスチナとで紛争が起きていて、なかなか両者の間で対話が難しい状況にあるので、第三国である日本でみんなで話し合おうということで活動している団体です。発足して10年になるんですが、その第1期のときから武蔵野市には大変お世話になっています。あと、武蔵野市の非核都市宣言という平和と戦争をテーマにした市民活動やM I A（武蔵野市国際交流協会）などの実行委員としても参加させていただきました。

【学生20】

日本獣医生命科学大学食品科学科にも所属しており、武蔵境活性化委員も務めております。去年の活動としては、トウガラシの収穫や東日本大震災の復興イベントとしての「さかい夜市」などの計画をしておりました。今回のタウンミーティングで学生の皆さんの意見を聞いて、活性化委員で今回聞いた話をアイデアとして出せたらいいなと思います。

【学生21】

亜細亜大学経済学部にも所属しています。一般奉仕会「細流」のメンバーで「細流」は今年1年間、部が創部したときから40年間お世話になっている長野県栄村の支援活動に力を入れてまいりました。あと、武蔵野フロンティアリーダーをやらせていただきました。これからも武蔵野市のために力になりたいなと思って参加させていただきました。

【学生22】

亜細亜大学から参りました。私は亜細亜大学ボランティアセンターという団体に所属しておりました。同センターでは、地域でのボランティア活動を軸に、さらに海外に目を向けて

フィリピンに研修団を送ったりなど、海外に向けた活動なども行っております。現在も武蔵野市で子どもの保育園のお迎えなど、そういったボランティア活動も毎週ずっと行っておりますので、武蔵境には住んでいませんが、かかわりが強いのかなと思ひまして、今日はこのような場で何か意見が言えたらと思ひて参りました。

【学生23】

早稲田大学に所属しています。日本・イスラエル・パレスチナ会議に携わっておりまして、1年間、イスラエルに行っておりましたので、その関係から当団体に参加しました。本日こちらに来たのは2点ありまして、市外に住んでいますが、この武蔵野プレイスが大好きで、図書館の中にカフェがあり、しかも雑誌が多く読める、ほんとすごいうらやましい施設だなと思ひまして、こんなところを治めている市長の方はどういう方なんだろうと思ひています。もう1点は、同じ大学生の皆さんが何考えているのかなと思ひて、いろいろお話をお聞きできればと思ひます。

横に座っている友達なんですけど、僕が留学していたハイファ大学の学生で、今は僕が所属している早稲田大学で日本語を学んでいらっしやいます。

【学生24】

私は今、早稲田大学で日本語を勉強しています。よろしくお願ひいたします。

【学生25】

亜細亜大学生です。洋弓部に所属し、田中先生のフィールドワークに参加しておりまして、そこで地域活性化について多くのことを学ばせていただいております。今回、自分も武蔵野市で活動している身なので、この武蔵野市の発展に自分も少しでも力になればなと思ひて参加しました。

【学生26】

成蹊大学生です。普段、ボランティアをしていて、武蔵野市や、あと亜細亜大の「細流」や亜細亜大学ボランティアセンターとか、あと明治大学の方と一緒にボランティアをしています。

(3) 武蔵境の歴史、まちについて（市長説明）（要旨）



武蔵境について少しお話をします。武蔵境は武蔵野市の3駅ある1つの駅です。この地域は300年以上前、江戸の用水を確保するため、玉川上水が開削され、それに伴い農地が開拓されました。もう一つ、この地域の発展に寄与したのが、当時は甲武鉄道といいましたけれども、今の中央線が明治22年に新宿から立川間が開通し、境停車場という駅ができました。武蔵境は、中央線で最も古い駅の一つで

す。そういう歴史性も秘めたところですよ。

その後、ここは境村という農村集落が発達して、戦前まではそのような集落が発展してきました。亜細亜大学ができて70年経ちますが、そのころから徐々に郊外型の住宅地として発展をしてきました。戦後は駅を中心に通勤者の住宅都市として発展をし、例えば桜堤団地というのが1955年にできました。今は、新しい民間のマンションがどんどん建ちつつある地域ですね。

また、鉄道高架化の事業が、2年前に完了いたしました。甲武鉄道が122年前にできたときからずっと地上に線路があり、それが地域の南北の分断要素となっていました。今は、南北が行き来しやすくなりました。より一層、南北一体のまちづくりを進めていこうということで事業を進めております。

そして、この地域の特徴としては、亜細亜大学があり、駅前には日本獣医生命科学大学、市外ですが、ちょうど五日市街道の行き当たったところに武蔵野大学があり、西武多摩川線に乗って外語大もあるし、それからICUもあるしということで、境周辺に大学が極めて多く立地をしており、大変多くの学生の皆さんに境周辺を利用いただいているんじゃないかと思っております。

武蔵境に住む市民の意識というのは、武蔵境というよりか武蔵野市民という意識が高いですね。武蔵野市民の方は、「吉祥寺に住んでいる」と言う人が半分、「武蔵野市に住んでいる」と言う人が半分ぐらいいます。「武蔵境に住んでいる」と自ら言う方はほとんどいません。つまり、この地域に住んでいても、どうしても意識的には武蔵境じゃなくて武蔵野市という、そういう名前にあこがれている人が多いのではないかと思っておりますが、今後は武蔵境というのをぜひブランドにしていきたいと思っております。今、武蔵境は大変人気が出てきております。例えば南口の武蔵野プレイスの対面に高いマンションが建ちます。民間事業者が建てているのですが、その価格が、結構上がってきており、高級感が出てきたのではないかと思っております。今後は、より一層、武蔵境というブランドを高めていきたいと思っております。

この後、皆様方からいろんな提案をいただきたいのですが、お配りしたペーパーに武蔵境を考えるキーワードがあります。

国際色というのは、亜細亜大学をはじめとした大学が多くある中で、留学生の方もたくさ

んいらっしゃいます。それから、MIAという国際交流協会もあるということで、他地域に比べ、国際的な色彩が強いと思っております。

また、大学が集まっているということでは、地域の活動に多くの学生の皆さん方にご参加いただいているのではないかと考えています。

それから、南北一体のまちづくりについては、地域の皆さんも大変関心を持っておられるようで、商店街の皆さんや、若い世代の皆さんにこの武蔵境をどうしようかという、議論をいただいております、武蔵境活性化委員会という組織にも活動いただいております。

この武蔵野プレイスも大きなまちづくりの拠点になっているのではないかと考えておりますので、単にここで時間を過ごしていただくだけではなくて、ここでの活動がいろいろな創造活動につながって、外に発信できればもっとおもしろいのではないかと考えております。



【武蔵野プレイス】

それから、武蔵境の新たなまちづくりという中では、今、駅舎が工事中でありますけれども、やがて駅舎が建てられれば、南北が通行できるようになります。そこに新しい改札口がオープンすることになります。それと同時に、今、JRのほうで西口の改札口を設ける予定をいただいておりますので、亜細亜大の皆さん方にとっては朗報ではないかと考えています。

お手元の資料の中にも入っていると思いますけれども、今、北口の駅前広場の計画づくりを進めております。広場のイメージ図もございますが、緑豊かで、そして快適な駅前広場を創出しようということで計画づくりを進めております。まだ完全に設計が上がっているわけではございませんが、皆さんにいろんな意見もいただければと思っております。

また、充実した学生生活のためにということで、こんな店が欲しい、こんなまちになったらいいのではないかとということも提案いただきたいと思います。一つ特徴的なものとして、例えばイトーヨーカドーというのは昭和54年に開店し、西館、東館に分かれたのが、ここ十数年だと思っております。ちなみに、東館の売り上げは全国のイトーヨーカドーの店舗で3番目ぐらいということで、大変人気があり、集客力のある店です。そういうまちであるということもぜひお知りおきいただきたいと思います。

それから、行政として課題であるのは自転車問題です。この地域は全く真っ平らなので、自転車を利用しやすいということもあって、逆に申せば、自転車がたくさんこの駅に集まってまいります。武蔵野市民だけでなく、半数近くが三鷹市だとか西東京市から来られるので、その自転車駐輪場の確保が大変課題でありました。この間、鉄道の高架化が進みましたので、高架の下に駐輪場を設けています。また、民間開発事業者にもご協力いただき、今、開発をしております住友不動産のマンションの一面にも1,000台の駐輪場を設けていただくことになっています。

武蔵境のまちは、まだまだ発展途上だと思っておりますので、ぜひ皆さんの若い視点で、積極的に、武蔵境のまちづくりについて、ご提案いただきたいと思います。

(4) 市長説明についての意見交換

1. 武蔵境のブランド化について

【学生8】

ブランド化するに当たって何を売りにするのか、市長の考えを聞きたいと思います。

【市長】

1つは、利便性を最大限の武器にしていければいいのではないかとということと、今、新しいまちづくりを進めていますので、景観的にいいまちにできないかと思っています。ですので、1つは、電線の地中化などを含めて、どこも同じような駅前だと言われたいような、いいまち並みを形成したいと思っています。

2. 駅前の安全性について

【学生5】

私は「むさしの国際交流まつり」に参加させていただいたことがあるが、そこで安全パトロール活動をやらせてもらいました。駅前の歩道のところで車を止めたり、歩行者の方を通したりしていましたが、武蔵野市は交通ルールがちょっと危ないような気がしています。これから武蔵境でのイベント事などがあることはいいことだと思いますが、すべて安全第一だと思うので、この駅前の計画で利便性がよくなるにつれて安全性はどのようによくなっていくのか教えてください。

【市長】

道路や駅前広場を整備するに当たっての基本は安全な交通処理です。単に車をうまく通すということではなく、歩行者が安心して通過できることが、第一の視点だと思っています。また、武蔵野市全体の話をするれば、歩いて楽しいまちづくりということで、歩行者第一のまちにしたいと思っていますので、駅前広場等につきましても、歩行者の視点での計画をつくっていかれたらと思っています。



(5) 学生の地域活動についての意見交換

【司会】

まず、皆さんと地域の関わりについて紹介してもらおうと思います。亜細亜大学学友会は、地域へのボランティア活動に主に参加させていただいています。例えば、毎年行われているすきっぷ通りでの「舞祭」の参加や、駅前のごみ拾いの活動に参加しています。また、サークル活動では、地域の体育館を借用して練習をしている団体も多くあります。そのような面でも地域の協力なしには活動はできない状況ですので、とても感謝しています。

各団体についても担当から説明をしていただきます。

【学生10】

私たち文連の執行委員会では、主に大学の地域交流課からのお話や、地域との交流などのイベントなどがありますと、その話を市にいただき、文連の担当から、所属団体に連絡する形を取っています。また、文連を通さず、地域交流課のほうから直接団体に行く場合もあります。直接地域の交流などに参加できる場合は私たち執行委員会のメンバーも積極的に参加しています。去年は桜堤保育園の夏祭りで、ボランティアの協力員をやってほしいという依頼がありまして、参加させていただきました。

【学生11】

私たちは、ジャズダンスサークルのTANZですが、この武蔵野プレイスの広場で行われる武蔵境ピクニックに参加させていただきました。また、西東京市のほうでも大きな西東京祭りというイベントに出させていただきますと、いろんな地域の方から依頼を受けて踊っています。

【学生3】

私たちは、一般奉仕会「細流」というボランティア団体です。主に地域に根差した活動をモットーに日々活動しております。主に、武蔵野市の雑木林を保全している団体のお手伝いをさせていただいたり、障害を持った子どもたちの余暇活動の付き添いなどしております。ほかにも地域のコミセン祭りや、サンヴァリエの桜まつりなどに参加させていただいており、幅広い分野でボランティア活動しております。

【学生7】

当団体は、先ほども話したとおり、西久保コミュニティセンターで2カ月に1回、地域の方で70歳の方から中学生の方まで料理を通じてコミュニケーションを学ぼうという主旨で、活動を行っています。武蔵野市では、田中先生のフィールドワークの授業で「夜市」とトウガラシの収穫の活動をさせてもらいました。

去年の8月に新たな団体として設立しました。最初は障害者のサポートを高校生のおきからずっと行って行っていたので、その活動を推進していこうと思っていました。そんな時、3月11日に震災が起きたので、その震災のボランティア活動が行えればと思い、物資の提供に始まり、雇用問題、孤独死問題が出てきたので、その問題解決のために、エコたわしなどの手編みものをつくるため集会所に集まっていたら、会話を楽しみながら、1人じゃないということを知ってもらいたいと思っています。つくられた商品は、こちらで企業に委託し

て販売してもらったり、僕が街頭に立って一つ一つを手渡しで販売したりという形で販売しています。

【司会】

亜細亜大学以外の学生さんから話ををお願いします。

【学生23】

日本・イスラエル・パレスチナ会議について説明させてください。地域に根差したという意味では関係は薄いかもしれませんが、ただ、武蔵野プレイスを毎回打ち合わせで使わせていただいていますので、その成果をご報告いたします。現地のイスラエルには、ユダヤ人とアラブ人と2種類の民族がありますが、彼らは、分離壁とって、政治的理由から大人同士が話せない状態です。彼らをこちらに招くことによって、現地では話せないようなことを、ひざを突き合わせて我々日本人も加わって話そうということを行っています。

その一つの成果として、去年日本に来られた方たちが、現地で会って、みんなで話したということがありました。そのつながりがどこから生まれたかということ、やっぱりこの場所から生まれたのかなど。武蔵野市から国際問題を解決すると、その一助になっているのかなど思っています。今後もこの活動を続けていき、また、日本社会へそのパレスチナ問題について訴えかけていきたいなと思っております。

【学生20】

私が所属している武蔵境活性化委員についてお話ししたいと思います。先ほどもお話ししましたが、去年の活動内容としましては、武蔵境の「HOTほっとプロジェクト」で高橋農園でのトウモロコシの収穫、秋にはトウガラシの収穫など行いました。8月には日本獣医生命科学大学で東日本大震災復興支援企画としまして「さかい夜市」というのを行いました。ちなみに、そちらの売上金は東日本大震災のほうに寄附をしたそうです。あとは、11月に武蔵野プレイスで「武蔵境未来の詩」という、小学生や幼稚園生や小さい子どもなどを対象としたイベントを行いました。

【市長】

日本・イスラエル・パレスチナ会議の活動が大変盛んで、何回か武蔵野市に来ていただいています。団体の活動として行った平和の木の植樹がありますが、そのオリーブの木がグリーンパーク遊歩道にあり、看板が掲出されています。今後、もっとPRしていきたいですし、それから、今年は世界連邦宣言自治体協議会の総会を7月13日に武蔵野市で開く予定になっています。一緒に活動ができればと思いますので、いろいろ相談させてください。

それと、境地区でのいろいろなイベントに亜大の皆さんをはじめ、多くの方に参加いただいて、うれしく思っています。A-c-a-f-eも、大変地域の方には好評です。若い皆さん方が参加してくれることだけで、地域の皆さんが元気になります。その上で、運営面も支援いただくというのは、願ったりかなったりなので、これからもお力をいただきたいと思っています。遠慮せず同じ市民の一員なので、年齢差はあったとしても違うことは違うとはっきり言っていただき、議論があり、課題解決に向かっていくと思いますので、単にボランティアをやっている自己満足に終わることだけではなくて、皆さんは地域の一員だという自覚でぜひ参加いただければありがたいなと思っています。

(6) 第一部意見交換（要旨）

1. 地域内起業について

【学生15】

今のお話の中で、ボランティアを一生懸命やられている学生さんと、起業精神を持って、いろんな地域に入り込んでビジネスをされているという、2つのタイプがあるのかなというふうに感じました。ボランティアももちろんすごく大切で、地域に貢献されていると思うんですけども、永続的に地域に入り込んで行っていくというのが非常に大切であると思っていて、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスみたいな観点の必要性が非常に高まっていると思います。先ほど話がありましたけど、ベッドタウンですと、都心に働きに行っていて、地域に帰ってくるのは夜遅くだったりして、コミュニティが希薄化してしまう、そういった問題があると思うので、今の若者が地域に根づいて地域でビジネスを起こしていくというのが非常に大切だと思いますが、起業に対する援助や支援はされているのか伺いたいです。

【市長】

A-c a f eの話をご紹介いただけますか。

【学生17】

亜細亜大学の学生が主体となり、企画と経営を行って、A-c a f eというコミュニティカフェをやらせていただいたんですけども、商品の仕入れ、会計、ここはどういうものを使うか、テーブルの配置、装飾等、すべて学生たちが行いました。ハートランド富士見で貸しテナントをお借りしまして、昨年11月24日から1月19日まで毎週木曜日の12時から5時まで経営をさせていただきました。

【学生16】

補足ですけど、最後に課題として残ったのが、来てくださる方たちは近隣の住民の方たちだけでした。私たちの力不足というのもあったのかなと思いますが、決まったお客様しか来ないというその状態では、毎回、売上げが落ちていきます。本当は、それがコミュニティカフェではないと思ったので、学生の立場なのでそんな大きなことは言えませんが、ビジネスを起こしたときにもっと宣伝のしやすい場所があったらよかったのかなと感じました。

【市長】

大変難しいのですが、ボランティア活動として地域に参加をいただいていると同時に、協働の担い手としての皆さんの活動も大いに期待をしたいと思っています。これからの市民サービスというのは行政だけでなく、地域の皆様方に積極的に参加をいただきたいし、そこにパートナーシップが生まれてくると思っています。ただ、そのときに何も市が支援をしないのかではなくて、やはりA-c a f eもそのベースはコミュニティスタジオという空き店舗の活性化事業があり、市は経費を3分の1支援しているということもありますので、では、それが発展的にほかの地域でできるかという、まだまだ試行中の段階です。ただ、今後はコミュニティビジネスというのは大いに注目すべきことなので、大いに研究していきたいと思っています。逆に地域の皆様から提案があれば、こちらとしてももっと取り組みやすいと思っていますので、ぜひ提案をいただきたいと思っています。

【司会】

私、「いがねこ」という団体を初めて聞きましたが、少し興味を持ちまして、亜細亜大学でも協力させていただきたいので、次、もし何か企画とかあれば、教えていただきたいと思います。

【学生15】

私たち「いがねこ」は、武蔵野市の「さかいHOTほっとプロジェクト」と似ているのかなと思っていますが、食で地域を活性化していこうという形で行っていきまして、江戸東京野菜という東京の伝統野菜を農家の方が復活栽培させました。付加価値の高いものをつくって販売していこうと農家さんが頑張っていて、それをさらに行政が市内の商店の方に「江戸東京野菜を使ったお料理を出してください」ということでつないでいます。行政が広報・宣伝をし、市民の方がそれを食べて楽しむというような、農商連携で経済を活性化させていこうという事業を行っています。私たちもそれに便乗するような形で、行政の方、またNPOの方々と一緒に活動させていただいております。ただ行政と一緒にやっているだけとかNPOの手伝いをしているだけではなくて、自分たちの企画を行っています。ラーメン街道と呼ばれる新小金井街道には、ラーメン店がすごいひしめき合っています。学生はラーメンが好きなので、地域のオリジナルな江戸東京野菜の伝統小松菜というものを練り込んだヘルシーな緑色のラーメンをつくり、伝統小松菜ラーメンフェアを行いました。やっぱり地域のブランド力を高めていくため、学生もそういった企画提案をして実行している。それを行政やNPOの方々もサポートしてくださるという形で行っています。今後、伝統小松菜をパウダー化し、長期保存が可能になるようにし、そのパウダーをスイーツ屋さんや商店にPRし、商品を作ってほしいと提案をしています。ぜひ皆さんも一緒に、この活動に参加していただけたらうれしいですし、武蔵野市の活動にも興味ありますので、参加させていただきたいと思っています。また、広域連携のような形で、武蔵野市をはじめ、小金井市、国分寺市でまちおこしを行っている学生サークルはたくさんあるので、まちおこしの輪をつくっていったら、お互い課題を共有していけたら素晴らしいと思っています。

【市長】

武蔵境活性化委員会でも同じようにトウガラシを一つの材料としていろんなお店で使ってもらって「さかいHOTほっとプロジェクト」を展開しているので、うまく連携できるとおもしろいかもかもしれませんね。

2. 学生の情報共有について

【学生8】

今、すごく感動したんですけど、他大学と亜細亜大学の連鎖反応が起きて、そこに武蔵野、武蔵境の発展のかぎがあるのかなと思いました。確かに吉祥寺はいろんな若者向けのお店がありますが、この武蔵境は学生の連鎖反応の中心地としての可能性が大いにあるのかなと思いました。

【学生23】

市外に住んでいてわからないのですが、学生の活動の情報共有ができる場はありますか。

【司 会】

ないですね。

【学生23】

情報交換のためには、例えば武蔵野プレイスの壁とかに学生専用のボードがあり、チラシなどが張れるようになったらいいのではと思います。

【市 長】

いい提案だと思います。例えば、このプレイスを皆さん方の交流の拠点としてもっと活用いただきたいと思いますし、そういう情報ボード的なものも何か工夫したいですね。

【学生26】

ボランティアという観点では、亜細亜大と成蹊大は、一緒に企画してボランティアをしたり、明治大学と3大学合同でボランティアをやっています。それはどうやって知り合ったかという、ボランティアに行くとき他大学の方も同じ場所でやっているの、そこで一緒にボランティアをやるかということ誘い合ったり、あと、「ボラ友の輪」という集まりがあり、ボランティアってどういうところがいいのということをみんなで協議して、また他大学とも仲よくなっていく、そういったいい循環が生まれています。

(7) 第二部意見交換(要旨)

出席者より、前半の意見交換を聞いてのご意見やこれからの「武蔵境」を考えるキーワード、から気付いたことを、事前に配布したポストイットに記載していただき、第二部では、それらをきっかけとした話し合いを行った。



1. 武蔵境のブランド化について

【市長】

武蔵境は「吉祥寺を目指すのか、それとも全く別のブランドを目指すのか」ということですが、吉祥寺が目標像ではないと思っています。吉祥寺というのは半径5、6キロの中に10万人おられますから、広域の商業地、繁華街だと思っています。吉祥寺は、ジャズ、音楽、アニメ、演劇等々、さまざまな文化が生まれており、吉祥寺の場合は、井の頭公園があるということで、独自性を生かした吉祥寺のまちづくりが進んでいます。「境には電車をおりてまで寄りたいたいお店が少ない。都内からよさもわからない」というのは、武蔵境は、基本はここに買い物や都市観光ではなく、学校に通っている、住んでいるといった方が、より一層楽しめるまちであるようにと思っています。そのため、名物が欲しいということで、今、苦労しております、1つはトウガラシということがあるのですが、それだけではなく、ほかにもいろんなことを積み重ねていきたいと思っています。

それから、「すきっぷ通りのお店がチェーン店ばかりとなってきた」というのも、これは全体的な傾向ですが、駅前の場所というのは、土地の価格が高くなってくると賃料が上がりテナントの入居が難しくなりますので、そのような場所にテナントで入れるお店は全国展開するチェーン店ということになりがちです。本来ならば、そこにお住まいの方が地元で商売を展開していただくことで、個性的な店になると思うのですが、なかなかそれは経済の事情から難しいという面があります。そのような現状はあっても、そこで個性的な店舗展開をしていただきたいと思います。

【司会】

境の学生の間では、油そばが名物であり、発祥の地らしいので、押しはいかがかと個人的には思います。

【市長】

そのようなことを宣伝したほうがいいですね。

【学生】

「さかいHOTほっとプロジェクト」は「KARA-1グランプリ」という京都の向日町で行われるイベントに出る予定だったけれど、残念ながら出ることができなくなったという話を聞きますが、それはなぜでしょうか。

【学生20】

私がまだ活性化委員会に入っていないときだったので、調べてお伝えします。(26ページ参照)

2. 武蔵境の交通について

【市長】

では、次に進んでいきましょう。一番多いご意見は交通ですね。「線路を上に乗せたのは、事故が減り、よかったと思うのですが、車の交通がとても不便だと思います。一方通行の道が多過ぎます」ということなのですが、今、まだ道路網は整備中で、完成形ではありません。現在、さまざまな課題がありますが、基本的には住宅地には通過交通を入れないということを考えていきたいという中で、一方通行もある程度考えざるを得ないと思っています。先ほども申し上げましたけれども、道路の主役は歩行者だと思っていますので、特に駅周辺、住宅地の中は歩行者優先の道をつくって、それをネットワーク化したいと思っています。

「交通でミラーがないと困る場所がある」。これは警察の統計で見ますと、カーブミラーをつけると過信をして、事故が増えてしまうという結果が出ています。今は、一時停止が原則ですので、基本的にはつけない方向ですね。皆さんも注意をしていただきたいと思っています。

「車で来るには不便」「地元から家族を呼べない」これを、質問された方はご意見をお願いいたします。

【学生4】

家族が車で大学へ来たいと言ったときに、停める場所がなく困っています。

【市長】

道については、調布インターを降りて、北に行けば武蔵境ですし、この境地域についても、北の都立武蔵野中央公園の西側の伏見通りから続き、武蔵境駅の東側に調布一保谷線という広い道が整備されていますので、道は大変整備ができてきたと思います。駐車場についてはあまり整備をしていません。というのは、自動車でどうぞ来てくださいというまちではないと思っているためです。公共交通機関が発達しているので、まず電車、バスを利用して来ていただきたいと思っています。

次、「自転車通学の身としては、単純に歩道を広げてほしい」というご意見についてお願いします。

【学生9】

ひとり暮らしで、大学まで近いところに住んでいまして、自転車通学のため歩道を通りますが、亜細亜大学周りの歩道はちょうど人間2人が通れるぐらいのスペースのところが多くて、自転車通学と歩行者がすれ違うときに、止まりますが、どうしても危険が伴うんです。

【市長】

歩道は歩行者が優先です。自転車は車両ですので、原則車道通行になっています。ただ、歩道でも通行が可のところもあり、また、子どもたちと高齢者についても可ということになります。ただ、実態を見ると、車道も狭いので、車が猛スピードで走るところを自転車が通行するのも難しいのではないかという議論も、出ているところです。と同時に、できれば車道側に自転車の専用レーンを設けられればいいですね。武蔵境駅の南口のかえで通りというところは既に両側に自転車専用レーンを設けて、東八道路までつなげているところもありますので、今後は幅広い道路についてはそこに専用の自転車道を設けていきたいと思っています。

3. 防災対策について

【司 会】

最近3月11日の未曾有の大震災もありましたので、市の防災センターとか、そういうのが気になるところです。

【市 長】

災害対策についてですね。「災害のときに、武蔵境のまちに放送で流れる情報が聞きづらいことがある。何か改善してほしい」。これは防災行政無線といいます。市でアンケート調査をとったのですが、この防災行政無線を頼りにしているという市民の方が結構多くいらっしゃいますので、その改善を進めていきます。聞きづらいところについては、例えばスピーカーの向きを変えたり、空白地域もあったので、増設をするということにしております。それから、隣接自治体でも同じように放送するので、そうすると、市境などは、一斉に同じような放送が流れ聞き取りづらくなるので、連携をとって放送時間をずらしています。また、防災行政無線で流れたデータをFMむさしの（78.2メガヘルツ）で同じように流しており、インターネット上でも、このラジオ放送が聞けますので、お聞きください。

4. 防犯対策について

【司 会】

大学で課題活動をしていて夜遅く帰ることが多かったのですが、夜道が暗くて怖いなど思ったことがありました。「街灯の増築はお考えでしょうか」というのがありますのでこちらについて、お答えください。

【市 長】

暗くて危険そうだとか感じる場所はぜひ指摘をしてください。皆さんは気づかれていないかもしれませんが、武蔵野市は街灯を極めて多く設置しています。そして、街灯自体の光度も明るくしています。このところ取り組みを推進してきたので、大変明るいまちになっているとは思っておりますが、逆にまだ盲点があるかもしれませんので、増設等についても考えていきたいなと思います。街灯については道路課が担当ですので、該当箇所があればご連絡をお願いいたします。また、境地域のことについては武蔵境開発事務所が駅の北側にありますので、そこに直接行かれると担当部署につながります。

5. 情報共有について



【司 会】

「学生の居場所と、学生の活動に情報共有する」ということに関してお願いいたします。

【市 長】

学生情報の共有のボードをつくったらどうかというご提案いただきましたが、あそこに市民活動団体からのお知らせ

【武蔵野プレイス 内部】 というコーナーがあって、このプレイスに団体登録をすると使えるそうです。ただ、さっきおっしゃった方は、この場所は何でもいいからお知らせの紙

などを張れて、それぞれの情報交換できればというようなことだと思うので、もう少し緩やかな掲示コーナーというのができるとおもしろいかもしれませんね。あるいは、団体の皆様方でネットワーク団体のようなものをつくって、それで登録しておけば、その加盟した方は、そこに貼れるとかね。メルアド知っている人はすぐ伝えられるけれども、そうでない不特定多数の方に発信するためには、やはりこういう掲示板だとか何か物理的なものがあると効果的かもしれませんね。

【司 会】

m i x i やフェイスブックなどのSNSが結構活発化してきているので、そういうところも大いに利用し、あとは大学の団体ごとで皆さんも外に出ていくというような意識を持っていけばいいのではと思います。

【市 長】

それから、学生の集まる場所はないですか。

【学生13】

日本・イスラエル・パレスチナ学生会議自体のミーティングは毎週ここでやらせてもらっていますが、ここでミーティングしていても、ほかの学生団体をあんまり見かけません。例えば亜細亜大学さんは、もしかしたら亜大の中でミーティングするスペースとかがあるんですよね。

【司 会】

教室借用をするか西部コミュニティセンターなどを使っている団体が多いですね。

【学生13】

あとは、私たち、毎年夏に2週間ほどイスラエル学生・パレスチナ学生を呼んで合宿をしますが、その合宿をする場所が武蔵野市の中にあつたらいいなと思っています。調べましたら、長野県に所有されている施設があると聞きましたが。

【市 長】

富士吉田市に富士高原の宿舎がありましたが、そちらは売却してしまったので、あとは、長野県川上村のキャンプ場があります。バンガローもあり、中央棟にはベッドがありますが、ここからは、遠いですね。武蔵野市は1平方キロに1万3,000人が住んでおり、全国で市レベルだと2番目に高密度の都市です。だから、建物にあんまり余裕がない状況ではありますね。

よく困るのは、ホームステイで、外国から子どもたちを招いたときに、1軒1軒に余裕がなく、お願いするのが難しいという現状があります。学生さん来てよと言っても、泊まる場所がなければ来られないので、武蔵野市に限定するのではなく、連携という話も出ましたので、周辺都市で研修所的なものもありますので、そういう施設を利用いただければと思います。

【司 会】

「まちづくりには大学生の力が必要になると思います」という意見があるので、学生とのタウンミーティングの回数も増やしたほうがいいのではと、個人的に思ったりします。

【市 長】

今回限りにはしたくないと思っているので、ぜひこれを機に皆さん同士もつながっていた

だきたいし、私も皆さん方からさらに意見を聞くような機会を設けていきたいと思えます。

6. 武蔵野プレイスの活用について

【司 会】

「プレイスが市民活動にどうかかわるかを期待したい」「有料であるため使いにくい」というような意見が出ています。学生はいろいろなことでお金がなくて、会議室を借りるだけでお金を取られてしまうと活動がしにくいとかいうところがあります。プレイスが学生に対してどう開放されていくのか、お考えがあればお願いします。

【市 長】



プレイスはオープンスペースは無料、個室については有料の施設になっています。運営には、コストがかなりかかるということもあり、ある程度の利用者負担ということをお願いしなければいけないと思っています。これは全体的な市政の健全運営にも必要なことだと思っていますので、理解をいただきたいと思えます。片や、あまりお金を持ってない学生さんをどうやって支援するかについては、

このフロアを使っていたきたいんです。ここは無料で開放しているエリアがありますし、場所をうまく工夫して活動をしていただきたいと思っています。それから、プレイスの3階は市民活動の支援のためのフロアですので、団体登録をいただければコピー機だとか印刷機だとかも利用できますので、ぜひ登録いただきたいし、このフロアの機能は、まだまだ十分に生かされていないと思っていますので、逆に皆さんから、こういう使い方をしたらいいのではないかということも含めて、ご意見いただきたいと思えます。

【司 会】

武蔵野プレイスもできたばかりですので、皆さんの意見を聞き入れて、どんどんベストな形にしていきたいと思えます。

7. 路上喫煙マナーについて

【司 会】

今度はまちづくりについて、お話を進めていきたいと思えます。

「喫煙マナーが悪い」「それについてのマナーを学生と市が一体となって改善活動しませんか」など、武蔵境のまちづくりについての意見が挙がっていますが、これはいかがですか。

【市 長】

喫煙の問題については、武蔵野市では駅周辺地区を禁煙地域に指定をして、男女のペアで啓発活動をしております。23区の中では罰金を課す条例を制定しているところもありますけれども、武蔵野市はあくまで啓発をしていこうと考えています。皆さんのマナーに頼ってい

こうということで、啓発に取り組んでおり、その地区内での喫煙というのはかなり減っております。ただ、禁煙地区を設けるかわりに、たばこを吸う権利についても言われていますので、そういう方々のためにマナーポイントをつくって、たばこを吸えるポイントを設定しているのですが、どうしてもその近くを通る際の煙の害を指摘する方がいらっしやいます。

今後、「公共空間だから、マナーポイントぐらい設けたほうがいいのではないか」、「公共空間なんだから、それは全面禁煙にすべきだ」ということをぜひご意見をいただきたいと思っております。ちなみに、武蔵野市役所も公共施設ですので、吸える場所を減らしております。今は、建物の中では吸う場所がないから、屋外で吸っていただいておりますが、やがては市役所全体の敷地を禁煙にしたいと思っています。ただ、市役所の敷地を出たらそこで吸うのではないかと、という意見もあるので、もう少し検討していきたいと思っています。

一方で、たばこ税については貴重な財源です。たばこは6割ぐらいが税であり、400円のうち、60円くらいは武蔵野市の税収となります。武蔵野市のたばこ税は年間10億円になります。私は吸わないほうがいいと思いますし、自身も吸っていませんが、買われる方については「ありがとうございます」という立場です。ただ、「吸って」ではなく、「買って」くださってありがとうございますという立場です。買うのであれば武蔵野市内でと思っています。

ただ、基本的にはたばこ税を頼るべきではないと思っています。みなさんのご意見をいただきたいと思っております。

【学生23】

たばこを買ったら吸いたくなるのが人情なので、ある場所では吸えるようにしたほうが、たばこを吸う方にも喜ばれると思いますし、市としても財源確保となるからいいのかなと思います。全くなくしてしまうのは良くないと思います。

【学生8】

買う側にも吸う権利があるというのはもちろんそうで、人の権利を、公共空間だからといってみだりに抑止してしまうのもどうかと思いますので、認めるなら認めるで、分煙する場所をきちんと決めることが絶対的に必要だと思います。煙が漏れてしまうということが最大の問題なので、そこを改善していくことが税収面、個人の権利面でも必要で、そのために、どこで設けるか、個室にするなど、どのような設備にするのか、というところを進めていくことが大切だと思います。

【市長】

屋内ではかなり分煙化が進んできたのですが、屋外空間をどうするかを大いに研究しなければいけないと思っています。

【学生16】

武蔵境駅北口の交番の横にあるマナーポイントですが、どうなのかなと思います。しかも横断歩道の横で、学生、お年寄りも通りますし、交番は、困った人が年齢に関係なく訪れる場所ですので、あの場所を変えることはできませんか。

【市長】

場所は課題だと思っていますので、北口については、これから駅前広場の改修をしますもので、そのときに議論をしていきたいと思っています。

【司会】

いい形で共生ができれば、よりよいまちづくりにもつながると思います。

8. 国際交流について

【司会】

では、国際交流について、「外国人との共生、国際都市としての武蔵野、交流する場所が欲しい」というご意見について、お願いいたします。

【市長】

武蔵野市には外国人登録者が2,200数十名おります。外国人の皆さんとの交流を推進しているMIA（武蔵野市国際交流協会）がスイングにあり、そこで国際交流まつりや、留学生の皆さん方の生活支援、外国人の皆さん方との交流、外国人の日本語スピーチコンテストだとか落語大会とか、ユニークな取り組みをして、交流活動は進んでいると思っています。また、武蔵野市は積極的に海外との交流も進めており、青少年の海外交流を結構行っております。国で言うと、ロシアのハバロフスク市、韓国の忠州市と江東区、それから中国の北京市、アメリカのテキサス州のラボック市などと青少年の相互派遣交流をしております。ホームステイを原則としておりますので、向こうへ行っても普通の家庭に子どもたちが泊まれるので、大変いい経験ではないかと思っています。こういう交流で相互の文化の違い、歴史の違いを認識することで、平和な世界の形成にもつながっていくと思っておりますので、若い世代から大いに海外の人と交流を深めていただきたいと思っています。そのステージとしてこの境地区が大いに発展すればいいと思っていますので、国際交流協会もありますけれども、そういうところを拠点としてさらに広げていければと思います。

【学生23】

国際交流協会の活動の中で、外国人留学生の方と日本人の方がペアになって小学校や中学校に行き、その留学生の国のことについて説明するという活動はしていますか。

【市長】

小学校へ、その小学校区に住んでいる外国人の方が講師になって行くというケースはあります。小学校で今、外国語教育というのが始まっていますけれども、それについても地域にお住まいの外国人の方に先生になってもらっています。ご質問の事例があるか、わかる方はいらっしゃいますか。

【参加者】

実際には、学校の先生方とどのような形で進めるかというのを話し合いながら行っています。市長がおっしゃったように、地域の外国人の方を学校に派遣して授業を持つというのは年間を通じて、非常に盛んに行われております。

9. 武蔵野プレイスのPRについて

【学生7】

この武蔵野プレイスですが、このタウンミーティングがなければ、存在を知りませんでした。活動内容を武蔵野プレイスの掲示板で張るというのも、ここを知らなければ、何も始ま

らないと思うので、大学やたくさんの商店街の方々の協力で、武蔵野プレイスをまず知ってもらうことが最優先じゃないかと思います。

【市長】

おかげさまでこちらは来館者が多いんですね。毎日5, 6, 000人来ているので、当初の予想をはるかに上回っており、当初は年間で70から80万人と予想していたのが、おそらく年間で120万人ぐらい来るだろうと思っていますので、宣伝が足りてないという認識はあまりありません。ただ、まだ知らない方もいらっしゃいますので、PRを重ねていきたいと思っています。

【学生7】

武蔵野プレイスが、地域活性化や交流の場であることが、住民や学生にどれぐらい伝わっているかという点、そこまでの知名度は高くはないと思いますので、活性化委員会や学生ボランティア団体の連携や、こういった共有の掲示板などを、もう少し地域住民や学生などの目のつきやすいところに増設できるようにしたらいいのではないかと思います。

10. フェイスブックについて

【学生23】

関連したことで、武蔵野市というのはフェイスブックのアカウントはありますか。

【市長】

市としてはフェイスブックのアカウントはありません。ツイッターでは、放射線情報を流しています。皆さんがいろいろな情報ツールを使っているので、それは、やはり取り込まないといけないと思いますので、今後よく研究してみたいと思っています。

【司会】

今まで出た意見をぜひ市政に反映していただきたいと思っています。意見交換はこれで終了したいと思います。

(8) 閉会のあいさつ

【市長】

皆さん、ありがとうございました。どのような方が来ていただけるのか心配をしておりましたが、いろいろな案をいただきました。このタウンミーティングは、提案をしてもらって終わりではなくて、それを我々が受けとめ、実現できるものは実現していくというスタンスであります。後日報告書を作成いたしますので、皆様に見てもらいたいと思いますし、何年か経って、あのとき言ったものが実現できていないではないかという指摘もぜひいただきたいと思います。これからもずっとフォローしていただきたいし、いろいろな機会あるごとにまた意見を言ってください。そして、皆さん方が生活をする場としてのこの武蔵境を一緒によくできたらと思っております。また、将来的にはぜひ境に住んでいただきたいと思っています。

ありがとうございました。



第42回タウンミーティング意見一覧

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	武蔵境駅の開発	<p>駅北口の工事を長くやっていると思うのですが、いつ頃終わりますか？そして最初に比べて改善した点などあれば知りたいです。</p>	<p>武蔵境駅北口周辺では、駅の高架化、駅前広場整備工事等を行っています。 鉄道に関わる高架化は概ね終了していますが、駅前広場工事は仮駅舎撤去後の着手となり、現広場機能を維持しながら(公共交通等を通しながら)の工事となるため、完成は平成27年度末を予定しています。 駅前広場整備については、現状も踏まえ、より機能性や利便性を考慮した整備を行う予定です。</p>
		<p>線路を上に出したのは、事故が減り、よかったと思うのですが、車の交通がとても不便だと思えます。一方通行の道が多過ぎます。</p>	<p>人や車両等の移動の基軸となる交通体系や交通動線については、広域的かつ公平な見地から検討すべきものであり、武蔵野市域に特化した狭義な交通規制や通行制限はできません。隣接する区市(道路管理者)並びに関連する所轄警察署(交通管理者)等と綿密な連携を図りながら、好ましい交通環境の確保に向けて研究していきたいと考えています。</p>
2	道路整備	<p>歩道を広げてほしい。 駅前の道が狭くて歩行者にとって危険。</p>	<p>歩道は歩行者が優先であり、自転車は原則車道通行となっています。道路幅員の広い武蔵境駅南口のかえで通りについては、平成22年4月に歩行者・自転車・自動車の走行空間を分離した「自転車道」を整備しました。しかしながら、本市内にはかえで通りのような十分な幅員を備えた道路が少ないため、「自転車道」の整備は難しいのが実情です。 三鷹駅北口の文化会館通りで試行している路面表示による「自転車誘導レーン」が、自転車安全利用講習会等による啓発活動もあって、ルールやマナーが自転車利用者に着しつづつありますので、歩車共存の狭い道路空間の中、武蔵野警察署とも連携を図りながら、ハード、ソフトの両面から「自転車通行環境の整備」を検討していきたいと考えています。 また、武蔵境駅周辺では鉄道の連続立体交差事業にあわせ、北口駅前広場整備や3・4・27号線などの整備を進めています。これらの事業により車両動線の見直しや、より安全な歩行空間の確保を行う予定です。</p>
3	交通安全施設について	<p>交通でミラーがないと困る場所がある。 道路をわたる時、車が信号機のところで止まっていて、反対車線が見えずわたりづらい。</p>	<p>カーブミラーがあるために過信をして左右の確認をせず、一時停止を怠り、飛び出しによる事故が多いため、武蔵野警察署と協議して設置しています。また設置に際しては、設置する場所の近くへの影響等を考慮して住民及び権利者の方の承諾が必要となります。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
3	交通安全施設について	駅前横断歩道に信号をつけてほしいです。	交通管理者である東京都公安委員会により、広域的に制御されている交通信号機について、市が直接的に対処することはできませんので、窓口となる所轄警察署に照会いたします。
4	街路灯の設置	駅北側のマクドナルド裏など、夜になるととても暗く感じます。街灯の増築(設)は、お考えでしょうか？ 駅を少し過ぎると人通りが少なく、街灯も少ないので危険。	当該地区内の照度を調査のうえ、一定基準を満たしていない場合には、街路灯を増設するなどの対応をいたします。
5	駐車場について	家族が車で大学へ来たいと言ったときに、停める場所がなく困っています。	本市は、公共交通機関(電車・バス・タクシー)の利便性の良い場所にありますので、公共交通機関をご利用ください。武蔵境駅北口からはムーバス5号路線(境西循環、境・東小金井線)もご利用いただけます。
6	自転車の放置違反金	自転車の駐輪違反での罰金3,000円はどこへ行っているのか。どのように使われているのか。	「武蔵野市自転車等の適正利用及び放置防止に関する条例」に基づき、放置自転車を撤去及び保管した場合は、当該自転車を返還する際に利用者から「撤去及び保管手数料」を徴収しています。この手数料は自転車対策事業に繰り入れられ、放置自転車対策や駐輪場運営などの事業に使われます。
7	交通マナー	自動車・自転車を運転する人々の交通マナーを意識付けするという点が必要なのではないでしょうか。 自転車や自動車の交通についてです。駅周辺だけでなく、武蔵野市全域で交通マナーを向上させていくべきだと思います。武蔵境自動車教習所の教官も言っていました。市内の交通マナーは悪いです。自動車が歩行者のいる横断歩道で停止しない。自転車が歩道で歩行者を危険にさらすような運転をしている等があります。	自転車に関しては、「自転車走行は車道の左側が原則、歩道が例外」などの自転車利用のルールやマナーの向上について、平成20年10月から開催している自転車安全利用講習会などを通じて行っており、10,000名を超える方々が受講しています。講習会開催以前の平成19年は市内の自転車関与交通事故は335件でありましたが、平成23年では210件となり、40%近く減少しており、一定の効果が見られます。今後も講習会などを通じて、自転車利用者へのルールの周知やマナーの向上を図っていきます。 自動車運転のマナーについては、一般的には、免許証取得時や更新時に講習会などを通じて受講していると思われる。また、市では警察署及び武蔵野交通安全協会と連携して当該協会内の安全運転管理者部会(市内の事業所で組織する)を通じて、年間2回開催される副安全運転管理者講習会等でマナーアップの指導・啓発に努めています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
8	防災無線	防災無線について。武蔵境の町で放送で流れる情報が聞き取りづらい事がある。何か改善をしてほしい。	本市のように都市化の進んだ地域では、防災行政無線の聞き取りづらさは全市的な課題であると認識しています。このため、難聴対策の一つとして、市ではむさしのFMと連携し、防災行政無線と同じ内容をFMラジオで放送しています。災害時等にはFMラジオから正しい情報を入手していただきたいと思います。 なお、平成24年度は、市内3箇所に防災行政無線屋外スピーカーの増設を予定しており、難聴地域の解消を進めます。
9	緑	人気が高まる武蔵境、その中でも静かで緑あるまちであってほしい。	武蔵境地域は、市内で唯一の河川である仙川や玉川上水といった水辺空間があり、小金井公園や市立公園など有機的に繋がる緑豊かな環境を有しています。 このような地域の資産を大切に守り、さらに新たな緑の創出を図ることで、より質の高い身近な緑の拠点を充実させ、緑と水をネットワーク化し、相互の機能を高め合い、私たちの生活を豊かな緑が支える武蔵境の形成を目指します。
10	若者の起業支援	ベッドタウンですと、都心に働きに行くと、地域に帰ってくるのは夜遅くだったりして、コミュニティが希薄化してしまう、そういった問題があると思うので、今の若者が地域に根づいて地域でビジネスを起こしていくというのが非常に大切だと思います。起業に対する援助や支援はされているのでしょうか。	市には、創業するにあたって必要な資金について、市内に本店所在地を置く小規模企業者に、優遇された利率での融資をあっせんし、またその際にかかる利子の一部と信用保証料の補助を行う制度があります。この制度を活用して、ぜひ武蔵野市内での起業をお願いいたします。 また、東京都中小企業振興公社において、創業支援を受けたい方向けに相談窓口、セミナー、交流の場を設けています。
11	若者の起業支援	ビジネスを起こしたときにもっと宣伝のしやすい場所があったらよかったのかなと感じました。	A-cafeを開いていただいたコミュニティスタジオは、空き店舗を活用した、商店会活性化事業を行うための空間です。 コミュニティスタジオを開設するにあたっては、商店会内にコミュニティスタジオとして活用できる空き店舗があり、かつ商店会活動としてコミュニティスタジオの運営およびかかる経費を担うことができなければなりません。そのため、コミュニティスタジオによる商店会活性化は市でも進めたい事業のうちの一つですが、発展的にほかの地域でできるかという点はまだ難しい状況です。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
12	商業の活性化	<p>境は吉祥寺を目指すのか、それともまったく別のブランドを目指すのか。</p> <p>「武蔵境といったらコレ！！」という名物が欲しい。</p> <p>境には電車をおりてまで寄りたいお店が少ない。都内からよさもわからない。</p>	<p>武蔵境は、都市観光に訪れるまちというよりは、日常生活を支える生活中心地として位置づけており、学校に通っている方や、住んでいる方が、楽しめるまちであるように考えています。</p> <p>都市計画マスタープランの地域別構想の中は、①武蔵境の自然と文化を活かした未来を築くまちづくり②人と人とのつながりを大切に生活感あふれるまちづくり③安全で安心して暮らせる人にやさしいまちづくり、を大きな目標として、地域の資源である水辺や緑や農地、神社や記念碑、学校、閑静な住宅、利便性の高い駅前や地域の商店街を活かしながら、環境に配慮しながら安全安心で武蔵境地域らしい南北一体となったまちづくりを目指しています。</p> <p>名物については、「さかいHOTプロジェクト」として唐辛子を使った商品を開発しております。これだけではなく、油そばなど魅力的な名物を発掘し、いろいろなことを積み上げていきたいと思っています。</p>
13	商店街活性化	<p>すきっぷ通りのお店がチェーン店ばかりだと思えます。他の駅前でもチェーン店があるので、個人でやっているような地元根ざしたお店が増えるとうれしいです。</p>	<p>武蔵境に限らず一般的な傾向として、駅前の地所というのは土地の価格が高くなってくると賃料が上がり、テナントの入居が難しくなり、入ることができるお店が全国展開するチェーン店ということになりがちです。そのような状況はあっても、そこで個性的な店舗展開をしていただきたいと思えます。</p>
14	まちおこしの支援	<p>「さかいHOTほっとプロジェクト」は「KARA-1グランプリ」という京都の向日町で行われるイベントに出る予定だったけれど、残念ながら出ることができなくなったという話を聞きますが、それはなぜでしょうか。</p>	<p>激辛グルメ店でどこが一番「辛旨い」を決めるKARA-1ですが、出展店舗ではありませんでしたが、協賛の形で武蔵境活性化委員会が参加し、武蔵境産唐辛子をPRしてきました。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
15	国際文化への理解	<p>外国人、特にイスラム教徒の人にとって日本は住みにくいところだなーと感じました。イスラム国ではハラールマークというのがあって、これを貼ってある食品は合法の豚肉を使っているという証明をしているのです。日本では、お酒でも豚肉を使った料理でも、特に気にすることはないために、イスラム教徒の人にとってはやさしくないなと思います。もしそういった証明というか表示があれば、外国人にとっても住みやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のハラールマークは、イスラム教徒の人たちが宗教上の問題から口にすることを禁止されている食物ではないことを表示するマークです。</p> <p>このハラールマークを取得するには各国に様々な民間、あるいは政府系の認証機関が存在し、その機関に承認の申請をして取得します。現在、日本には認証機関が2つ存在します。</p> <p>アメリカやオーストラリアなどの多民族国家や人口の数%がイスラム教徒というドイツやフランスなどのヨーロッパ諸国ではスーパーでハラールとそれ以外のものを見分けるためのハラールマークのついた食品が見かけられます。またイスラム圏に食材を輸出する際には輸入国からハラール認証を求められるほどイスラム教徒の生活に根差したものです。</p> <p>しかし現在、イスラム教徒の居住者が約10万人ほどの日本では、まだまだその認知度や必要性を求める割合が低いため、煩雑な手続きや数十万円するといわれる認証費用を負担してその認証を受けようとする気概になっていないのが現状です。</p> <p>今後、イスラム教徒の増加や旅行者の受入れなどでその要望が高まれば、日本でもハラールマークについての食品や飲食店が増えてくると考えられます。</p>
16	国際交流	<p>国際交流教会の活動の中で、外国人留学生の方と日本人の方がペアになって小学校と中学校に行き、その留学生の国のことについて説明するという活動はなさってますか。</p>	<p>武蔵野市国際交流協会では、地域との連携事業の一環として、市内小中学校からの依頼により、在住外国人を国際理解の授業づくりや外国語活動に派遣協力をしています。児童生徒と外国人が直接コミュニケーションすることを大切に考え、担当教員と事前準備をします。授業では日本人が間に立つ方法は取らず、外国人が自ら日本語を駆使し、育った国の文化紹介や児童生徒との交流をすすめる形式になっています。</p> <p>そのほかでは、ALT(外国語活動指導助手)を小学5～6年生、中学1～3年生の授業に配置し、日本人教員とともに授業を行っています。</p>
17	武蔵野プレイス	<p>プレイスが市民活動にどうかかわるかを期待したい</p> <p>イベントを行う際に、プレイスはとても良い場所なのですが、有料であるため使いにくいです。…学生のイベントで使う際は無料にしていただけると助かります。</p> <p>この武蔵野プレイスですが、このタウンミーティングがなければ、存在を知りませんでした。活動内容を武蔵野プレイスの掲示板で張るといっても、ここを知らなければ、何も始まらないと思うので、大学やたくさんの商店街の方々の協力で、武蔵野プレイスをまず知ってもらうことが最優先じゃないかと思います。</p>	<p>個人と団体、あるいは団体同士をつなげ、新たな気づきも生むようなコーディネーターとしての役割も担っていきたくと考えています。</p> <p>武蔵野プレイスの利用料金は、近隣の類似施設等の料金も参考にしながら決定しています。市民の方、市外の方によって利用料金に差を設けていますが、学生の方ということで減免又は免除することは現時点では考えていません。</p> <p>市報やホームページのほかに、生涯学習事業団の広報誌やホームページ、むさしのFM等でプレイスのご案内をしています。また、学校等にもチラシを配布していますが、効果的な広報の手法については引き続き検討していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	大学との連携	<p>たくさん大学が集まっているので、大学同士の連携の援助を市からよびかける！！</p> <p>これからのまちづくりには大学生の力が必要になると思います。</p>	<p>市内や近隣区市の五つの大学と市が連携・協力し、市民の生涯学習への寄与を目的として、共同講演会等を行い、実務担当者による五大学連絡協議会を実施しています。今後、学生の方の地域参加を広く求め、学生同士の連携についても検討していきたいと考えます。</p> <p>また、市外に通勤・通学する人が比較的多い武蔵野市では、日中の災害時などで頼れる若い力は、市内や市周辺の学校の学生の皆さんです。学生の皆さんには、是非、武蔵野市をわがまちとして認識していただき、防災だけでなく、様々なまちづくりの課題について、若い力と感性を発揮していただきたいと思っています。</p> <p>ボランティアサークルの活動等が活発に行なわれている大学もあり、これからも、市内や近隣の大学等に参加を呼びかけて参ります。</p> <p>その様な参加の機会を通じて、大学同士の自立的な連携が生まれてくることを期待しています。</p>
19	学生活動の場	<p>様々な学生の活動の中心地としての「武蔵境」を一つの選択肢としてはどうか。</p>	<p>武蔵野プレイスは武蔵境地域にある文化・生涯学習施設として、武蔵野らしい都市型市民文化の発信に努めていきます。また、市民や文化団体のみならず多様な事業者との連携を強化し、新しい文化産業の育成や魅力あるまちづくりの中心として展開していきたいと考えます。</p>
20	喫煙マナー	<p>喫煙マナーも悪い。景観問題を重視するならば喫煙所の場所を考えてほしい。</p> <p>歩行者中心の町づくりを進めるにあたり、歩行喫煙者などのマナーを守れない人が気になります。武蔵野市周辺の学生と市が一体となって改善活動をしませんか？</p>	<p>喫煙問題については、三駅周辺を路上禁煙地域に指定し、駅周辺の商業関係者や市民団体などの方々に構成する「ようこそ美しいまち委員会」で協議した結果、喫煙者にマナーポイントでの喫煙をお願いする分煙の方法を取り入れており、引き続き、マナー指導員による喫煙マナーの指導に取り組んでいきます。</p>
21	マナーポイント	<p>交番の横にあるマナーポイントですが、どうなのかなと思います。しかも横断歩道の横で、学生、お年寄りも通りますし、交番は、困った人が年齢に関係なく訪れる場所ですので、あの場所を変えることはできませんか。</p>	<p>武蔵境駅北口マナーポイントについては、現在移設先の確保が困難な状況ですが、今後武蔵境駅前広場整備事業と合わせ、「ようこそ美しいまち委員会」と受動喫煙対策を考慮したマナーポイントの移設について検討していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22	コミュニティの力	武蔵野市といえば…コミュニティの力！！ どうやって市民活動がこんなに活発になったのか知りたい！	<p>全市的な町内会等のない武蔵野市では、コミュニティセンターを拠点とした市民による自主的なコミュニティづくりの取り組みがすでに30年以上続けられています。</p> <p>東日本大震災の経験から、地域における人と人とのつながりの重要性が今まで以上に認識されるようになっていきます。</p> <p>福祉、子育て、環境や防犯、防災などの暮らしの課題に対する活動は、その必要性から出発しています。</p> <p>学生の皆さんにも、ぜひ、地域の身近な課題に関心を持ち、活動に参加されるよう期待しています。</p>
23	情報の共有	<p>タウンミーティングのような会があって、はじめて学生たちの活動を知りました。なのでその情報が知れる場がほしい。そして、このような活動をしている団体の交流が出来る場がほしいです！</p> <p>情報共有ボードをつくったらどうか。</p>	<p>学生の活動に限らず、様々な活動の情報交流の場は必要です。</p> <p>そのために、武蔵野プレイスをより活用していただきたいと考えています。プレイスが行う講座などの情報提供はプレイスの3Fワークラウンジで行っています。活動・交流スペースとしてはスペースA～Eがあります。また、市民会館には無料のミーティングスペースがありますので、夜10時まで団体の交流の場として気軽にご利用ください。</p> <p>また、武蔵野プレイスでは、利用者懇談会を定期的を実施する予定です。武蔵野プレイスをより活用するにはどうしたらよいか、利用者・団体同士で意見を述べ合い、合わせて交流の場ともなればと期待しています。</p> <p>併せて、地域における活動の拠点としてのコミュニティセンターも活用していただきたいと思います。</p> <p>今後も、市が情報提供すべき活動については、市報・市ホームページなどに掲載していきます。団体の活動で要件を満たしていれば、市報の最終面・市民伝言板に掲載することもできます。</p>
24	情報の発信	武蔵野市というのはフェイスブックのアカウントはありますか。	<p>現在、市としてフェイスブックのアカウントは取得していませんが、震災後からツイッターで水道水の情報を提供しています。</p>
25	宿泊施設	毎年夏に2週間ほどイスラエル学生・パレスチナ学生を呼んで合宿をしますが、その合宿をする場所が武蔵野市の中にあつたらいいなと思っています。	<p>武蔵野市の長期計画では、施設の総量(総床面積)を抑制していく方針を打ち出しており、新たな施設の整備は厳しい状況にあります。大学の施設、その他の民間施設、近隣市区の施設などをご利用ください。</p>

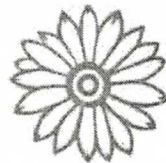
番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
26	ホームページ	ホームページの資料が見にくい。議会や直接的な利害関係者に向けたものではなく、市民に向けたわかりやすい情報発信をお願いしたい。	各課で作成しているページの内容について、専門用語や難解なものについては適宜修正し、わかりやすく情報提供が行われるように努めていきます。
27	タウンミーティング	「まちづくりには大学生の力が必要になると思います」という意見があるので、学生とのタウンミーティングの回数も増やしたほうがいいのかと、個人的に思ったりします。	6月に第2回目となる学生とのタウンミーティングを開催いたします。今後も多くの学生に地域の課題や市政に関心を持っていただくため、タウンミーティングの開催方法や運営の仕方について工夫を凝らしていきたいと思っております。若い人たちの熱意と斬新なアイデアをお待ちしています。
28	平和の発信	以前、非核都市宣言実行委員会に参加していたが、学生達の参加や興味関心がなくて、戦争を知っている世代の方が悲しんでいた。若い世代が幸せに暮らせるように頑張っている市民が沢山いるのに、世代を超えた交流がないのは悲しい。何か戦争を知っている世代の方の思いを伝える方法を考えてほしい。	本市では、平成20年に非核都市宣言平和事業実行委員会を設置し、戦争・平和に関する講演会や写真パネル展の開催、戦争体験の聞き取り調査を行い、また平成23年度には、11月24日を「武蔵野市平和の日」に定めるなど、平和の大切さを市民の皆さんに伝えているところです。平成23年度には、長崎市からの中学生を受け入れ、市内の中学生との交流を図りました。今年度は、長崎へ本市の中高生を派遣するなど、若い世代の交流にも取り組んでいます。また、同委員会のメンバーには、大学生も数名参加いただいています。今後も戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代につないでいくために、若い人たちの活動への参加を期待しています。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	市長とこんなに近くで話せる機会はないので、とても良かったです。
2	欲張ることなく、1つの課題を掘り下げて議論してほしい。
3	進行は、流れは良かったが、時間の見積もりが甘い。しかし、今後をつなげる方向で話が進んだので良かった。意外に学生から発言が出たので今後も期待したい。
4	今回のタウンミーティングの場が今後も続くようにしていただきたいと思います。また、タウンミーティングが市とボランティアの協力体制の強化につながるとういと思います。
5	もっと「武蔵野」「武蔵境」について話し合うべきだと思いました。「自団体」の活動のアピール、改善はテーマとずれていると思います。参加者の意識の違いがあり、少しガッカリでした。
6	とても有意義な会だった。もっと多く開いて欲しい。Webで開催しては、どうだろうか。
7	市長が学生の話をも熱心に聞いていらっしゃるのが印象的でした。武蔵境、武蔵野市のさらなる発展を期待しています。

* アンケートは、傍聴の方も含まれます。



これからの武蔵境に期待すること



○これからの「武蔵境」を考えるキーワード

国際色 留学生、武蔵野市国際交流協会、むさしの国際交流まつり

大学が集まっている 亜細亜大学、日本獣医生命科学大学、武蔵境駅を利用する大学としては武蔵野大学、国際基督教大学、東京外国語大学

地域とのふれあい 清掃活動（市内一斉清掃、西部コミュニティセンター）

商業の活性化 武蔵境 JAZZ ESSTON、境舞祭り、iisakaiの発行、商業者とのふれあい

武蔵野プレイス 平成23年7月オープン 5000人/日の来場者、青少年の活動支援

武蔵境の新たなまちづくり 駅舎の整備、周辺道路の整備、駅ロータリーの改善

ボランティア お祭りの手伝い、児童施設、福祉施設でのボランティア

充実した学生生活のために 地域の情報、コミュニティセンター、武蔵野プレイス

緑 緑と水のまち武蔵境、地域の緑を育てる活動、近所の公園

自転車 駅前の放置自転車、駐輪場の使い勝手、自転車の運転マナー

安全・安心 暗い道、ホワイトイーグルのパトロール

ごみ（環境） ごみ減量の取組み、分別方法の周知、節電、再生可能エネルギー

震災 3月11日に学生はどのように過ごしたか、帰宅困難者、情報、震災復興支援



第42回 市民 と 市長 の

テーマ別

タウンミーティング

開催日時



2月16日 (木) 18:30~20:00

会場

武蔵野プレイス
3階ワークラウンジ
(武蔵野市境南町2-3-18)



テーマ

「学生と語る武蔵境のまちづくり」

申込不要です。当日、直接会場へお越しください。お車でのご来場は、ご遠慮ください。今回のタウンミーティングは、学生と市長が意見交換を行います。

内容

今回のタウンミーティングは、武蔵境近隣に在住在学の学生の方たちと市長が、武蔵境のまちづくりについて、意見交換を行います。

主催 武蔵野市

問い合わせ



武蔵野市役所 市民協働推進課(西棟7階)
TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000

第42回

市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉

学生と語る武蔵境のまちづくり

❄️ 学生から見た武蔵境の魅力

❄️ 学生と考える武蔵境の活性化

❄️ 日ごろ感じる身近な地域の課題について

自転車の走行マナー、道路の整備、駅舎整備など

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。



第42回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成24年6月

武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)